



ぐるりちきゅうをひとまわり ヨーロッパ^{へん}編

2012年7月発行 富山市立図書館
<http://www.library.toyama.toyama.jp/>

せいぶ なんぶ
ヨーロッパ西部・南部

出国

01 AUG.2012

入国審査官 日本国
IMMIGRATION

アイルランド

ノックメニーの丘^{おか きよじん}の巨人とおかみさん アイルランドの^{むかしばなし}昔話

トミー・デ・パオラ/再話・絵 晴海耕平/訳 童話館出版

気だてのいい巨人のフィン・マクールは、おかみさんとたのしくくらしていました。ところが、アイルランドーらんぼうな巨人ククーリンが、フィンをやっつけにきます。おかみさんは、ちえをしぼって、ククーリンをおいだしました。[幼児～]



ジェイミー・オルークとおぼけイモ アイルランドのむかしばなし

トミー・デ・パオラ/再話・絵 福本友美子/訳 光村教育図書

ジェイミー・オルークは、アイルランドいちのなまけもの。ある日ようせいをつかまえて、大きなイモのなるタネをもらいました。おかげで、村の人たちはイモばかり^た食べるはめになります。[幼児～]

イギリスとアイルランドの昔話 石井桃子/編・訳 J・D・バトン/画 福音館書店

『三びきの子ブタ』や『ジャックとマメの木』など、よく知られたイギリスの昔話 22 編と、『元気な仕立屋』や『たまごのカラの酒づくり』など、ようせいやふしぎな生き物がとうじょうするアイルランドの昔話 8 編。[小中～]

ノリー・ライアンの歌

パトリシア・ライリー・ギフ/作 もりうちすみこ/訳 さ・え・ら書房

19世紀半ばのアイルランドで、「ジャガイモ^き飢きん」が起きました。絶望的な状況のなか、12歳のノリーは、家族を助け生き抜こうとします。[中学～]





アルバニア

おおかみだんなとろば アルバニアの^{むかしばなし}昔話 八百板洋子／再話 早川純子／絵 福音館書店
 オオカミは、ロバに「おおかみだんな」とよばれ、すっかりいいきぶん。ロバのせなか
 にのりこみ、こひつじをさがしにでかけますが……。〔幼児～〕

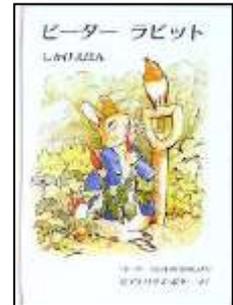


イギリス

ピーターラビットのおはなし

ビアトリクス・ポター／さく・え いしいももこ／やく 福音館書店

1893年にたんじょうしたピーターラビット。ピーターは、たいへん
 ないたずらっこで、いろんなさわぎをおこします。〔幼児～〕



三びきのこぶた イギリスの^{むかしばなし}昔話 瀬田貞二／やく 山田三郎／え 福音館書店

おかあさんぶたがびんぼうで、子どもたちをそだてきれなくなったので、3びきのこぶ
 たのきょうだいは^{いえ}家をでました。そこへオオカミがやってきて、わらや木で家をたてたお兄
 さんぶたは、^た食べられてしまいます。〔幼児～〕

ボグ・チャイルド シヴォーン・ダウド／作 千葉茂樹／訳 ゴブリン書房

1981年の独立闘争でゆれる北アイルランド。18歳のファーガスは、湿地（ボグ）で鉄器
 時代の少女の遺体を見つけます。ファーガスは、考古学者の母娘の調査を手伝い、少女の
 死の謎に迫っていきます。一方、武装組織のメンバーである兄は、刑務所に収監されハン
 ガーストライキをはじめました。周囲に翻弄されつつ、ファーガスは自分の道を歩みます。
 〔中学～〕



イタリア

ジュリエッタ荘の幽霊

アトリーチェ・ソリナス・ドンギ／作 エマヌエーラ・ブッソラーティ／絵 長野徹／訳 小峰書店

第二次世界大戦末期のイタリア。田舎に疎開していたリッリは、「呪われた屋敷」で見知
 らぬ少女を見かけます。そこは、^{そかい}結核で亡くなった少女の幽霊が出るとうわさされている
 家でした。〔小高～〕



オランダ

ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナ／ぶん・え いしいももこ／やく 福音館書店

オランダ生まれのディック・ブルーナさんがかいた「うさこちゃんシリーズ」の1冊です。うさこちゃんは、1955年にたんじょうしました。〔幼児～〕



ピートのスケートレース 第二次世界大戦下のオランダで

ルイズ・ボーデン／作 ニキ・ダリー／絵 ふなとよし子／訳 福音館書店

1941年、ドイツ^{せんりょうか}占領下にあるオランダ。10歳のピートは、オランダの大きなスケートレースにあこがれる少年です。ある冬、ピートはドイツ兵の目をぬすみながらこおった^{うんが}運河をスケートですべり、しりあいの姉弟をベルギーへとにがします。〔小中～〕

父さんの手紙はぜんぶおぼえた タミ・シェム＝トヴ／〔著〕 母袋夏生／訳 岩波書店

第二次世界大戦中のドイツ占領下にあるオランダ。10歳のユダヤ人の少女は、名前をオランダ風の「リーネケ」に変え、村医者のかにかくまわれます。愛する家族と離れ離れになりながらも、リーネケは、地下抵抗運動を通して届けられる父からの手紙を心の支えに生き抜きます。〔中学～〕



ギリシャ

ギリシア神話 石井桃子／編・訳 富山妙子／画 のら書店

古代ギリシアの人びとが信じた神がみの物語や、英雄や王たちの冒険物語が集められた本です。〔小高～〕



コソボ

ザビット一家、家を作る KOSOVO 長倉洋海／著 偕成社

戦争が終わり、山にかくれ住んでいたザビット一家は、^{こきまう}故郷の村にもどり家を作ってはじめました。8人の子どもがいる一家のパワフルな生活を写真で紹介します。〔小中～〕



スイス

ウルスリのすず

ゼリーナ・ヘンツ／文 アロイス・カリジェ／絵 大塚勇三／訳 岩波書店

あしたは、鈴行列のおまつりの日です。鈴をならして冬をおいだし、春をよろこびむかえます。行列の先頭には、大きい鈴をもった子がたちます。小さな鈴しかかしてもらえないウルスリは、山小屋の大きな鈴を思い出し、1人でとりにでかけます。アルプスの山村のふんいきが伝わります。〔幼児～〕

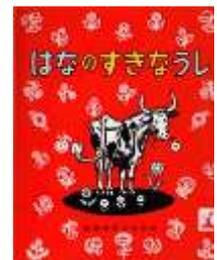


スペイン

はなのすきなうし

マンロー・リーフ／おはなし ロバート・ローソン／え 光吉夏弥／やく 岩波書店

むかし、スペインにふえるじなんどというかわいい子牛がいました。ふえるじなんどは、しずかに花のにおいをかいでいるのがだいすきでした。ところがある日、とうぎゅうじょうにつれていかれ、たたかうことになりました。〔小低～〕



ひらめきの建築家ガウディ

レイチェル・ロドリゲス／文 ジュリー・パシュキス／絵 青山南／訳 光村教育図書

スペインの建築家ガウディは、ドラゴンを門にのせたり、波のようになみなをうねったたてものをつくったりして、みんなをおどろかせます。サグラダ・ファミリアきょうかいをはじめ、7つの世界遺産をつくったガウディの伝記絵本です。〔小低～〕

ポルコさまちえばなし スペインのたのしいお話

ロバート・デイヴィス／文 瀬田貞二／訳 F. アイヘンバーグ／絵 岩波書店

むかし人間にあまり知恵がなく、けものほうに知恵がたくさんあったころのおはなしです。そのころ、けものなかまをおさめるのは、ブタのポルコさまでした。スペインでは、人間もけものもこまったことがあれば、ポルコさまにたすけてもらえます。〔小中～〕



セルビア

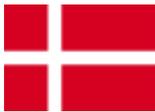
いちばんたいせつなもの バルカンの昔話

八百板洋子／編・訳 ルディ・スコチル／画 福音館書店

セルビアの昔話『いちばんたいせつなもの』のほかに、ブルガリア、ルーマニア、スロベニア、クロアチア、アルバニア、マケドニア、トルコ、ギリシアの昔話が集められています。[小高～]

オシムからの旅 木村元彦／著 100%ORANGE／装画・挿画 理論社

著者は、日本で活躍したサッカー選手、ストイコビッチとオシム監督の生き方を取材します。その過程で、旧ユーゴスラビアの紛争や複雑な民族問題にぶつかります。[中学～]



デンマーク

ぬまばばさまのさけづくり

イブ・スパング・オルセン／さく・え きむらゆりこ／やく 福音館書店

真夏^{まなつ}の風^{かぜ}のない夜^{よる}、しろいもやがたちのぼってくると、デンマークのひとたちは、「ぬまばばさまがおさけをつくっている」といいます。ぬまばばさまは、ぬまむすめやぬまこぞうといっしょに、ふしぎなざいりょうでおさけをつくりまします。[幼児～]

にんぎょひめ アンデルセン／作 そのあやこ／文 いわさきちひろ／画 偕成社

海の底^{うみ}にすむにんぎょひめは、人間の王子をすきになります。まじよにたのみ、人間にしてもらいますが……。デンマーク生まれのアンデルセンは、「マッチうりのしょうじょ」や「はだかの王さま」など、たくさんのお話^{はなし}をかきました。[小低～]

ものいくなべ デンマークのたのしいお話

メリー・C・ハッチ／文 渡辺茂男／訳 富山妙子／絵 岩波書店

びんぼうなおひやくしょうさんは、めうしと口をきくなべをとりかえました。なべは、びよんびよんはねてお金持ちの家から、食べ物やお金をとってきます。ほか7編の昔話集。[小中～]





ドイツ

おおかみと七ひきのこやぎ グリム^{どうわ}童話

グリム／〔原作〕 フェリクス・ホフマン／え せたていじ／やく 福音館書店

おかあさんやぎがらすのあいだに、オオカミがやってきました。オオカミはおかあさんのふりをして、いえにはいります。おどろいた子ヤギたちは、いえのなかにかくれますが……。〔幼児～〕



ブレーメンのおんがくたい グリム^{どうわ}童話

グリム〔原作〕 ハンス・フィッシャー／え せたていじ／やく 福音館書店

家^{いえ}からにげだしたロバ、イヌ、ネコ、オンドリは、おんがくたいにはいろうと、ブレーメンの町をめざします。とちゅうで日がくれて、やっとたどりついたのはどろぼうの家でした。〔小低～〕

あところはフリードリヒがいた

ハンス・ペーター・リヒター／作 上田真而子／訳 岩波書店

ユダヤ人のフリードリヒとドイツ人のぼくは、小さなころから同じアパートに住む仲良しでした。けれども、ヒトラーが政権を取ってから、ユダヤ人が迫害され、フリードリヒ一家にも、転居をせまられたり侮辱されたり苦難が続きます。〔中学～〕

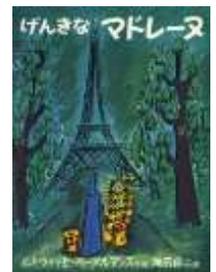


フランス

げんきなマドレーヌ

ルドヴィッヒ・バーメルマンズ／作・画 瀬田貞二／訳 福音館書店

パリの^{ふる}古いやしきに、12人の女の子がくらしていました。1ばんおちびさんのマドレーヌは、いつも元気いっぱい。ところがある日、マドレーヌは、もうちょうえんで^{にゅういん}入院します。パリのゆうめいなたてもはやばしょがえがかれています。〔幼児～〕



長ぐつをはいたねこ

シャルル・ペロー／原作 ハンス・フィッシャー／ぶん・え やがわすみこ／やく 福音館書店

こなやが死^しに、3ばんめのむすこにのこされたのは、1ぴきのネコだけでした。ところがちえのあるネコのおかげで、むすこはしあわせになります。フランス生まれのペローは、「シンデレラ」や「眠^{ねむ}りの森の美女^{びじよ}」など、たくさんのお話をのこしました。〔小低～〕



ブルガリア

吸血鬼の花よめ ブルガリアの昔話 八百板洋子／編・訳 高森登志夫／絵 福音館書店

若者は、お姫さまと婚約した夜に、吸血鬼におそわれたましいをうばわれてしまいます。それを知らないお姫さまは、若者の元におよめにいきますが……。ほか 11 編。〔小高～〕



ボスニア・ヘルツェゴビナ

平和の種をまく^{たね} ボスニアの少女エミナ 大塚敦子／写真・文 岩崎書店

ボスニアでは、隣^{とな}りあって暮らしていた 3 つの民族が争う大きな戦争がありました。戦争が終わり、3 つの民族がいっしょに働く農場がつけられました。戦争のさなか生まれたボスニアク人のエミナは、セルビア人の女の子と友だちになります。〔小中～〕

ヨーロッパ北部^{ほくぶ}・ロシア



アイスランド

女トロールと 8 人の子どもたち アイスランドの巨石^{きとせき}ばなし

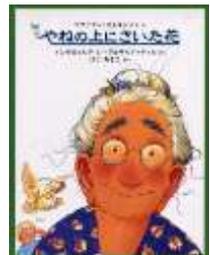
グズルン・ヘルガドットティル／作 ブリアン・ピルキングトン／絵 やまのうちきよこ／訳 偕成社

女トロールのフルンブラは、8 人の子どもをうみました。ある春^{はる}の夜^{よる}、フルンブラは、はなれてくらす男トロールにかわいい子どもたちを見せにでかけました。じしんや火山のふん^{おほ}が多いアイスランドの風土^{ふうど}が感じられます。〔幼児～〕

やねの上にさいた花 インギビョルグ・シーグルザルドットティル／さく

ブライアン・ピルキントン／え はじあきこ／やく さ・え・ら書房

おばあさんは、いなかから町のマンションにひっこしてきました。マンションは、なんだかつまりません。そこで、おばあさんは、へやにニワトリやヒツジをはなし、たくさんの植物^{しほくぶつ}をそだてはじめました。アイスランドのいなかのふんいきが伝わります。〔小低～〕





ウクライナ

てぶくろ ウクライナ^{みんわ}民話 エウゲーニー・M・ラチョフ／え うちだりさこ／やく 福音館書店
 冬の森で、おじいさんがてぶくろをかたほうおとしました。ネズミやウサギ、キツネ、イノシシ、クマまでが入り、てぶくろははちきれそうになります。〔幼児～〕

わらのうし ウクライナ^{むかしばなし}の昔話

内田莉莎子／文 ワレンチン・ゴルディチューク／絵 福音館書店

ある日、おじいさんとおばあさんは、わらで牛をつくり、腹にタールをたっぷりぬりつけました。この「よこっぱらタール」のおかげでふたりは、クマ、オオカミ、キツネをつかまえます。〔幼児～〕



びんぼうこびと ウクライナ^{みんわ}民話 内田莉莎子／再話 太田大八／画 福音館書店

ある村に、はたらいでもはたらいでも、びんぼうなおひやくしょうさんがいました。ある日、おひやくしょうさんがバイオリンをひくと、小人たちがおどりです。小人たちをおいだと、くらははどんどんよくなりましたが……。〔幼児～〕



エストニア

みつつのねがい エストニアの昔話

ピレット・ラウド／再話・絵 まえざわあきえ／訳 福音館書店

びんぼうでなまけもののふうふのもとに、ふしぎな男があらわれて「ねがいを3つかなえてやる」といいます。かながえにかながえましたが、おなかをすかせたつまがついソーセージをねがってしまいます。おこったおとがつまのはなにソーセージがくつつくようにといい……。〔幼児～〕

ながいながい旅 エストニアからのがれた少女

イロン・ヴィークランド／絵 ローセ・ラーゲルランツ／文 石井登志子／訳 岩波書店

戦争からのがれるため、女の子がたった一人でエストニアからスウェーデンへ向かいます。エストニア生まれの画家ヴィークランドの^{たいげん}体験にもとづいた絵本です。〔小中～〕



スウェーデン

ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ／さく・え おのでらゆりこ／やく 福音館書店

ペレは、こひつじを1ぴきもっていました。こひつじの毛はながくなりましたが、ペレのうわぎはみじかくなるばかり。ある日、ペレは、こひつじの毛をみんなかりとって……。〔幼児～〕



長くつしたのピッピ 世界一つよい女の子 リンドグリーン/作 大塚勇三/訳 岩波書店

ピッピ・ナガツシタは、9歳の女の子。サルや馬といっしょに、ごたごたの荘でくらしています。ピッピは、とても力持ちで大男や馬をへいちゃらで持ち上げます。つづきに、『ピッピ船にのる』や『ピッピ南の島へ』があります。[小中~]



スロバキア

12のつきのおくりもの スロバキア^{みんわ}民話

内田莉莎子/再話 丸木俊/画 福音館書店

さむい冬の日、ママ母と^{むすめ}娘のホレーナは、マルーシカに森へ行ってスマイルをつんでくるようにいっけました。寒さでたおれそうになったとき、マルーシカは、1月から12月までの月の^{せい}精たちに会います。月の精は、マルーシカのために森に^{はる}春をよびよせました。[幼児~]



チェコ

もぐらとずぼん エドアルド・ペチシカ/ぶん

ズデネック・ミレル/え うちだりさこ/やく 福音館書店

もぐらは、^{にわ}庭でみた大きなポケットのついた青いずぼんがほしくてたまりません。つづきに、『もぐらとじどうしゃ』があります。[幼児~]



ノルウェー

三びきのやぎのがらがらどん ノルウェーの^{むかしばなし}昔話

マーシャ・ブラウン/え せたていじ/やく 福音館書店

むかし、三びきのやぎがいました。なまえは、どれもがらがらどんといいました。やぎは、山の^{くさ}草をたべに谷川をわたろうとしますが、大きなトロールがまちうけていました。[幼児~]

トロールのばけものどり

イングリ・ドーレアとエドガー・ドーレア/作 いつじあけみ/訳 福音館書店

山のトロールが飼っているのは、おそろしいばけものどり。この鳥にでくわした4人のこどもたちは、ゆうかんに鳥をたいじして^{きよだい}巨大なローストチキンにしてしまいます。ノルウェーの^{みんわ}民話をもとにした^{はなし}ごうかいでゆかいなお話です。[小低~]

小さなスプーンおばさん

アルフ＝プジョイセン／作 大塚勇三／訳 ビョーレン＝ベルイ／画 学研教育出版

ある朝目をさますと、スプーンぐらいに小さくなっていたおばさん。けれども少しもあわてず、動物たちとのゆかいなおしゃべりをたのしみ、知恵をはたらかせて困なんを切りぬけます。つづきに、『スプーンおばさんのぼうけん』『スプーンおばさんのゆかいな旅』があります。〔小中～〕



ハンガリー

ラチとライオン マレーク・ベロニカ／ぶん・え とくながやすもと／やく 福音館書店

ラチは、^{せかいいち}世界一よわむしな男の子。犬やくらい部屋、友だちさえもこわいのです。ひとりぼっちでなしているラチのところに、小さな赤いライオンがあらわれました。ラチは、ライオンとつよくなるれんしゅうをはじめます。〔幼児～〕



フィンランド

北の魔女ロウヒ

バーバラ・クーニー／絵 トニ・デ・ゲレッツ／原文 さくまゆみこ／編訳 あすなろ書房

魔女のロウヒはいたずら好き。ワシに^{すがた}姿を変え、月と^{たいよう}太陽をぬすんで^{やまおく}山奥にとじこめました。とたんに^{せかい}世界はまっくらに。フィンランドで語りつがれた「カレワラ」の^{ものがたり}物語をもとにした^{えほん}絵本です。〔小低～〕

ムーミン谷の^{すいせい}彗星 トーベ・ヤンソン／作・絵 下村隆一／訳 講談社

フィンランドにあるムーミン谷には^{ふしぎ}不思議な生き物たちが住んでいます。すい星が地球に近づいてくると聞いて、谷は大きすぎ。ムーミントロールとスニフは、天文台にしらべにいきます。ほかにも、ムーミン一家がかつやくするはなしがたくさんあります。〔小中～〕

かぎのない箱 フィンランドのたのしいお話

ボウマン／文 ビアンコ／文 瀬田貞二／訳 寺島竜一／絵 岩波書店

カッレが助けた^{らいちよう}雷鳥は、まほうをかけられた人間でした。カッレは、お礼にかぎのない箱をもらいます。そのほか、フィンランドのまほうがいっぱいつまったお話が7編。

〔小中～〕



ベラルーシ

ガラスめだまときんのつこのヤギ ベラルーシ^{みんわ}民話

田中かな子／訳 スズキコージ／画 福音館書店

おばあさんが大事に育てた畑の麦を、いじわるなヤギがくいあらしめます。つぎつぎにクマ、オオカミ、キツネ、ウサギが、ヤギをおいだそうとしますが、うまくいきません。そこへ、ハチがやってきました。〔幼児～〕



アレクセイと泉のはなし 本橋成一／写真と文 アリス館

1986年、チェルノブイリの原子力発電所が爆発事故をおこしました。アレクセイのすむ村は、180キロはなれていましたが、もうここにはすんではいけないといわれます。けれども、アレクセイの家族は、村にのこることにしました。〔小中～〕



ポーランド

仕立屋のニテチカさんが王さまになった話 ポーランドの昔話^{むかしばなし}

コルネル・マクスィンスキ／再話 足達和子／訳 ボグスワフ・オルリンスキ／絵 偕成社

針の穴をとおれるほどやせっぽちの仕立屋ニテチカさん。ある夜、王さまになったゆめをみて、針と糸とはさみをもってぼうけんにでかけます。〔小低～〕

千びきのうさぎと牧童^{ぼくどう} ボランジスカ／文 内田莉莎子／訳 M・ヴィリーナ／絵 岩波書店

むかし、とのさまがおふれをだしました。「ひとつきのあいだ、まきばにはなした千びきのうさぎの番をせよ」もしうさぎを一びきでもにがしたら、とのさまのどれいになってしまいます。フシェミルというわかものが、うさぎの番をやろうとけっしんします。〔小中～〕

マルカの長い旅 ミリヤム・プレスラー／作 松永美穂／訳 徳間書店

第二次世界大戦下のポーランド。ユダヤ人の女医ハンナは、娘2人を連れハンガリーを目指します。ところが、旅の途中、下の娘マルカが病気でたおれてしまいました。〔中学～〕



ラトビア

ひつじかいとうさぎ ラトビア^{みんわ}民話 うちだりさこ／再話 すずきこうじ／え 福音館書店

ひつじかいがつかまえたうさぎが、森へにげだしました。ひつじかいは、オオカミにうさぎをつかまてくれとたのみますが、オオカミはしらんぷり。そこで、こんぼうにオオカミをぶんなぐってくれとたのみました。〔幼児～〕



リトアニア

パンのかけらとちいさなあくま リトアニア民話

内田莉沙子／再話 堀内誠一／画 福音館書店

ちいさなあくまは、びんぼうなきこりのおべんとうをぬすみました。とくいがおでもどりますが、大きなあくまたちに「おおびにやくにたつことをやってこい」としかられます。そこで、沼地を^{ぬまち}麦畑にかえましたが、^{むぎぼたけ}じぬしによこどりされてしまいます。〔幼児～〕



ルーマニア

りこうなおきさき ルーマニアのたのしいお話

モーゼス・ガスター／文 光吉夏弥／訳 太田大八／絵 岩波書店

^{だいじん}大臣は、王さまから「ヒツジを 2 千匹^{びき}売り、売れたお金といっしょにヒツジをつれてかえれ」といわれこまってしまう。それを見た大臣の娘は、王さまがだす問題をつぎつぎとといていきます。ほか 12 編の昔話集。〔小中～〕



ロシア

おおきなかぶ ^{むかしばなし}ロシアの昔話

A. トルストイ／再話 内田莉沙子／訳 佐藤忠良／画 福音館書店

おじいさんは、大きなかぶをぬこうとしました。ところが、かぶはぬけません。「うんとこしょ どっこいしょ」おばあさんやまごむすめ、イヌやネコ、ネズミと、みんなで力をあわせてひっぱります。〔幼児～〕



おだんごばん ^{むかしばなし}ロシアの昔話 せたていじ／やく わきたかず／え 福音館書店

おばあさんが、おだんごばんをやきました。かまどからとりだしてまどべでひやすうちに、ばんは、ころころころがって外^{そと}へにげだしました。〔幼児～〕